

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和5年2月17日
卒業式関連号



新聞やテレビ報道等でご存じの方も多いと思いますが、政府において、学校教育の現場では、新学期となる4月1日からマスクの着用を求めないことを基本とすることが決まりました。2月10日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部において、卒業式におけるマスクの着用については、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒等はマスクを着用せず出席することを基本とし、その際の考え方についてが示されました。そのことを受け、2月14日に四日市市教育委員会から次のような依頼が市内の小中学校に通知されましたので、卒業生保護者の皆様に連絡させていただきます。(一部抜粋)。

<四日市市における基本的な考え方>

- 児童生徒及び教職員については、入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。
- 来賓や保護者等に対して、学校はマスクの着用を求めるとともに、着席を基本とし、座席間に触れ合わない程度の距離を確保したうえで、参加人数の制限は不要とする。
※桜台小は、体育館のレイアウトの関係から、1家庭2名までしか座席を用意することができません。
- 国歌・校歌等の斉唱や合唱を行う時や、複数の児童生徒による、いわゆる「呼びかけ」を実施するときは、マスクの着用など一定の感染症対策を講じた上で実施する。なお、「呼びかけ」のときに歌を歌う場合も同様とする。
- 卒業式の実施に当たっては、換気対策機器の活用による効果的な換気の実施や参加者への咳エチケットの推奨、手の消毒や手洗い等の手指衛生など、必要な感染対策を講じる
- 発熱に限らず、咽頭痛や咳等、普段と異なる症状のある者については、参加を控えるよう徹底する。
- 基礎疾患があるなど、さまざまな事情により感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、また、健康上の理由によりマスクを着用できない児童生徒もいることなどから、マスクの着脱を強いることのないようにする。

これからの1か月間、学級閉鎖や臨時休校をすることなく、子どもたちの晴れの卒業式当日を無事迎えたいと考えています。今年度も残念ながら一定の制限がある中で、卒業式を挙行することとなりました。子どもたちが「私たちの卒業式はいい卒業式だった」と少しでも思ってもらえるように、制限がある中でも、できる限りのことを考えていきたいと思っています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度もコロナ禍であるという状況から、体育館への参集人数を考慮し、5年生が卒業式当日に参加することはありません。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。



卒業式における卒業生の服装等について

卒業式は、小学校6年間の教育課程をすべて終了したことを認め、中学校でのさらなる飛躍を願うとともに、子どもたちの6年間の学びや成長の姿を披露する最後の授業であると考えています。

つきましては、厳粛な雰囲気の中、参列者全員で祝福し、ぬくもりと感動がある卒業式を挙行するにあたり、次のように、保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 1 「卒業式は最後の授業である」という趣旨をご理解いただき、子どもの服装については、式にふさわしい服装で臨むようにご配慮をお願いします。
- 2 服装については、以前より市内において、羽織・袴などの着慣れない服を着用した際に、着崩れをしたり、トイレに行った後、自分で直せなかったりするといった問題がありました。また、早朝からの準備で体調を崩し、式の最中に不調を訴える等の健康面での問題も見受けられました。式当日、子どもが困惑したり、体調不良を訴えたりすることがないように配慮をお願いします。
- 3 子どもに華やかな装飾やヘアメイク、化粧やネイル等を施すことは、差し控えていただくようお願いいたします。

(文責 北住 昌文)